

本リリースの内容は、イタリアにおいて 3 月 4 日 9:00
(日本時間 3 月 4 日 17:00)に発表しました。

2026 年 3 月 5 日
株式会社日立製作所

日立レール、イタリア・トリノ地下鉄 2 号線に関する契約を締結

4億8,000万ユーロ超の契約により、先進的かつ持続可能な都市モビリティへ、2033年開業予定



株式会社日立製作所(以下、日立)の鉄道システム事業を担う日立レールは、イタリア共和国(以下、イタリア)のトリノ地下鉄 2 号線のレバウデンゴ-ポリテクニコ区間において、車両および信号システム的设计・供給を行います。本プロジェクトは、Infratrasporti.To Srl(以下、インフラ・トー社)向けのものであり、日立レールが革新的な完全自動化地下鉄システムの開発における技術パートナーとしての取り組みを一層強めるものです。

本プロジェクトの総額は約 4 億 8,160 万ユーロ(約 888 億円)^{*1}で、内訳として、3 億 8,850 万ユーロ(約 716 億円)^{*1}はレバウデンゴ-ポルタ・ヌオーヴァ区間の基本契約、9,310 万ユーロ(約 172 億円)^{*1}は将来的に行使される可能性のあるポルタ・ヌオーヴァ-ポリクリニコ区間のオプション契約に該当します。

^{*1} 1 ユーロ= 184.4 円で換算。

最終的にトリノ地下鉄 2 号線は、全長約 28km、全 31 駅となり、すべての車両は完全な「メイド・イン・イタリア」となる予定です。最初のレバウデンゴ-ポルタ・ヌオーヴァ区間は、2033 年までの開業を予定しています。

各編成は、車いす利用者向けスペース 2 カ所、自転車スペース 4 カ所を備え、立席乗客 336 名、着席乗客 68 名、最大 404 名の輸送が可能です。車両は、高い輸送力、あらゆる人の移動のしやすさ、快適性を確保するとともに、路線の先進的なデジタル信号システムと完全に統合される設計となります。

新しい地下鉄には、GoA4(自動化レベル 4)に対応した最新世代の CBTC^{*2} 信号システムが導入されます。これは現在実用化されている中で最高水準の自動化された技術であり、列車の発進・停止・ドア操作を含む完全無人運転を可能にします。この技術により、高いサービス信頼性と輸送能力が実現されます。また、本路線を走行する列車には、日立レールの高度なデジタル資産管理ソリューション HMAX for Rail が搭載されます。HMAX は、車両および路線データをリアルタイムで収集・分析し、システムの監視および迅速な対応を可能にします。

*2 Communications-Based Train Control の略語。列車の安全・安定運行を制御するために地上と列車間で無線通信技術を利用する列車運行システムの一つ。

現在、2,000 編成以上の列車に導入されている HMAX は、先進的なセンサー技術と、人工知能(AI)およびエッジコンピューティング(データ発生源近くでの処理)の最新技術を組み合わせることで、鉄道パフォーマンスの最大化、資産寿命の延長、コスト最適化を実現します。

HMAX の導入を通じて、トリノ市における先進的かつ持続可能な地下鉄システムの運営が支えられ、都市全体のモビリティ発展に寄与することが期待されます。

日立レール グローバル COO, Luca D'Aquila(ルカ・ダキーラ)のコメント

「トリノ地下鉄 2 号線は、当社が新型トラムをすでに納入しているトリノ市の公共交通ネットワークをさらに強化し^{*3}、都市圏内の接続性を向上させるとともに、自家用車から公共交通機関への移行を促進するでしょう。完全自動化、デジタル化、エネルギー効率に優れたソリューションを通じて、私たちは低排出型モビリティへの具体的な転換を支援します。イタリアで生まれ、世界で培われた産業・技術力を生かしていきます。」

*3 関連するニュースリリース「Hitachi Rail's cutting edge trams to begin service in Turin」(英語サイト)

<https://news.hitachirail.com/hitachi-rails-cutting-edge-trams-to-begin-service-in-turin-3271315>

インフラ・トー社 CEO, Bernardino Chiaia(ベルナルディーノ・キアイア)教授のコメント

「トリノ地下鉄 2 号線の車両および信号システムに関する契約の締結は、トリノ市の新たな地下鉄開発における重要な節目です。日立レールとの協創により、国際的な最先端基準に沿った、先進的で完全自動化された高度な技術インフラをトリノ市が備えることが可能となります。インフラ・トー社とトリノ市は、効率的で安全、かつ持続可能な公共交通システムの構築に引き続き取り組んでいきます。」

日立レールについて(英語サイト)

<https://www.hitachirail.com/>

HMAX について(英語サイト)

<https://www.hitachirail.com/products-and-solutions/digital-asset-management/>

商標注記

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

日立製作所について

日立は、IT、OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用した社会イノベーション事業(SIB)を通じて、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。デジタルシステム&サービス、エネルギー、モビリティ、コネクティブインダストリーズの4セクターに加え、新たな成長事業を創出する戦略SIBビジネスユニットの事業体制でグローバルに事業を展開し、Lumadaをコアとしてデータから価値を創出することで、お客さまと社会の課題を解決します。2024年度(2025年3月期)売上収益は9兆7,833億円、2025年3月末時点で連結子会社は618社、全世界で約28万人の従業員を擁しています。詳しくは、www.hitachi.co.jpをご覧ください。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
